

## CO<sub>2</sub>排出権を売却

### 国内クレジット制度活用

二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出削減に取り組む木材加工の外山木材(都城市、外山正志社長)は、企業間のCO<sub>2</sub>排出権を売買する「国内クレジット制度」を活用

し、同制度のソフト支援を手掛けるFTカーボン(東京都、富士昌孝社長)に売却した。

外山社長は「山に放置されたままになっていた間伐材やスギの皮などを有効活用していきたい。将来的には木質バイオマスを使って電力確保などもできればと考えており、今後もCO<sub>2</sub>削減に貢献していく」と話している。

今回の取引は、FTカーボンと連携し、CO<sub>2</sub>排出権売買のビジネスマッチングを進める宮崎銀行(小池光一頭取)が、同木材とFTカーボンを引き合わせた。同行営業統括課は「今後も地球温暖化防止と地域経済活性化に貢献できる活動を積極的に推進したい」としている。

外山木材は、事業過程で排出されるCO<sub>2</sub>削減に力を入れており、木材の乾燥工程で使用するボイラーを、A重油を燃料とするものから、木質バイオマスボイラーに変更。これにより年間で1926トンの

都城・外山木材

カーボン(東京都、富士昌孝社長)に売却した。